

鹿兒島県伊佐市「地域おこし協力隊」募集要項（追加募集）

伊佐市は、鹿兒島県北部の熊本、宮崎との三県境に位置し、古くから薩摩の要衝とされてきました。なだらかな盆地の八方から流れ込む良質な水が、伊佐の冠をもつ米や焼酎を育み、各集落には「稲作文化」と「焼酎文化」が色濃く残り、豊かな里山の原風景を感じることができます。

また、日本最古の「焼酎」の文字が現存しており、焼酎に対する愛着は鹿兒島の中でも特に深いといえます。

そのほか、日本一の金山（操業中）や桜の名所百選、滝幅日本一（210m）、日本一の江戸彼岸桜、美しい星空など誇れる地域資源も多くあります。

しかし、過疎・高齢化が進む中で、地域活性化や集落の機能維持などにおいても人材不足は否めず、また豊かな地域資源もフルに有効活用されていないのが実情です。

そのため伊佐市では、多様な人材を受け入れ、「起業・多業」や「人材誘致」をキーワードに、新たな地域のシステムの創造を目指すこととしており、延べ14名の地域おこし協力隊（卒隊者含む。）とともに、一步ずつ、少しずつ、前進するための取組を続けております。

四季を味わえる環境のもと、豊かな地域資源を活かし、伊佐の普遍的な価値を磨き・高める地域活性化のために、先輩協力隊を含む伊佐市民と協働しながら、積極的に地域づくりに取り組んでいただける方を募集します。

1 募集する隊員の業種

(1) 主たる業務

① 工芸ものづくりの活動業務 【1名】

▶現在活動中の協力隊2名、卒隊後定住している協力隊2名

日本一の星空や里山の原風景の残るまち。文豪や画家、漫画家、俳優、落語家、デザイナーなどを輩出し、また工芸作家や芸術家が自ら移住されていることから、ものづくりに適した“何か”がこの土地には宿っているはず。

「用の美」としての工芸ものづくりにより、地域における文化力の向上と手仕事の価値の発信のために、伊佐市では工芸ものづくりの若手作家を積極的に誘致し、2名の協力隊（土器作家、機織り作家）と2名の卒隊者（木漆芸作家、草木染作家）が活動中です。

空き家などをアトリエとして活用し、ご自身の作品づくりを進めていく中で、ものづくりワークショップや特産品開発などを通じて地域に貢献してくださる人をお待ちしております。
〈一定の修業期間を終えた民衆の工芸作家（陶磁器、木工、染織物、竹・蔦等の編組品、絵画など）〉

② 移住・定住支援に関する業務 【1名】 ▶現在活動中の協力隊1名（R6年4月卒隊予定）

本市の人口動態は、転出超過の状況が続いており、移住・定住を進めていく必要があります。都市と異なる「伊佐の時間」を有意義に感じ、起業・継業などをお考えの方などが移住・定住の魅力を感じていただけるようなPRや受入体制づくり、支援のあり方などを、移住者の目線でお手伝いいただければと考えています。

また、伊佐での魅力的な暮らし方として、「衣・食・住」を通じた伊佐流のライフスタイルなどを新たな視点でご提案いただき、魅力発信を行っていただきます。

(ア) 移住・定住促進のサポート（相談窓口、空き家バンクの運営、就業・創業支援など）

(イ) コミュニティ活性化のための支援（人材・魅力・課題の整理、空き家の利活用など）

③ 伊佐の魅力向上と情報発信に関する業務 【1名】 ▶現在活動中の協力隊2名

薩摩藩の米蔵として古くから県内屈指の米処であり、盆地の中心部には田園風景が広がっています。また、黒牛、黒豚、金山ネギ、カボチャなどの農産物の質も高く、滝幅日本一(210m)の曾木の滝公園や、手つかずの豊かな自然とそこに住む魅力的な“人”など、一つ一つの素材において高いポテンシャルを有するまちです。これからは稲作文化や焼酎文化、集落の風習や郷土芸能、食材の採取と食の提供、ヒトとヒトとの交流など、地域特性に依る魅力を再発見し、普遍的な地域の価値を発信しながら、伊佐のファンを増やし地域に関わる来訪者を増やすとともに、伊佐出身の若者が郷土愛を抱き伊佐を再び選んでくれるようなまちであることが目標となります。そのために、外からの目線での価値の再発見や魅力の情報発信など、先輩隊員をはじめとする地域人材と連携し、地域の再興にお手伝いいただきたいと考えています。

また、PRにおいて重要な要素となる写真や動画など、印象的なコンテンツが不足している状況です。そのため、これらのコンテンツの収集・記録、ライブラリとしてのストックをしながら、更なる魅力の掘り起こしを行い、効果的に情報を発信していくことにご自身のスキルをお役立てくださる方を募集します。

(ア) 魅力の掘り起こし（地域資源の発掘、情報発信、パンフレット制作など）

(イ) コンテンツの創造（写真や動画の収集・記録、デジタルライブラリの作成、情報発信など）

④ 農業、畜産業の支援に関する業務 【1名】

本市の農業は、冷涼な気候、地形等から県内でも有数の米どころとして認知されてきました。また、全国有数の畜産県である鹿児島県にあって、畜産業においても重要な経済基盤の一翼を担っています。しかし、少子高齢化の影響は確実にこの分野にも影響を落としてきており、1次産業の担い手の確保が重要な課題となっています。また、質の高い農業生産物を利用した付加価値の高い商品開発や、これまで本市で例のなかった収益性の高い作物の栽培など、稼ぐ力の掘り起こしも必要と考えます。自然豊かな本市において、水稲、野菜、畜産などの農家で農業体験を行いながら、新たな商品開発や、デジタル技術を活用して、作業負担の軽減化を図り、生産性の向上をもたらす取組を行うとともに、自身においても、この地での将来を描ける分野を見つけ、本市の基幹産業の担い手となってくださる方を募集します。

(ア) 農作業支援等（各分野で農業体験をする中で、6次産業化のアイディアを発信するなど）

(イ) デジタル技術の活用模索（(ア)と併せて、デジタル技術を活用した作業負担の軽減化など）

(ウ) 農畜産業の継業（担い手のいない農業者の後継者として自立など）

⑤ ICTの最大活用と日常的な利用支援に関する業務 【1名】

ICTの進化や普及により、私たちの地域、暮らしの様々な場面でデジタル技術は広まってきました。今では、地方の豊かな自然に囲まれて暮らしながら、都市部の会社に勤めるなど、これまでは考えられなかった生活が現実のものとなっています。

一方、身の回りの便利なサービスは、デジタル技術を意識しなくても一定のサービスの恩恵を受けられるようになってきているものの、中には自分自身で機器等を操作することが必要な場合もあり、ICTの活用には格差がある状況となっています。このような中で、ICT等の更なる利用推進が重要な課題であると考えています。

また、本市の基幹産業である第一次産業に関して、生産性や品質の向上、新たな販路確保を図るうえでICTの活用が重要であり、他の産業分野においても同様に、観光客の増加や移住定住を推進する等のためにICTの利活用は不可欠なものとなっています。

この課題に対しては、老若男女問わず取り組むことが重要となりますが、将来に目を向けると、次代を担う子どもたちを教育・育成する義務教育課程において、児童生徒にとって情報活用能力は、全ての学習の基盤となる資質、能力であると同時に今後の地域づくりや産業振興等まちづくりにおいても欠かすことのできないものとして、大きな期待を寄せているところです。

このようなことから、デジタル技術を活用し、本市の第一次産業をより生産性の高いものとする、地域産品に新たに付加価値を付ける、都市部の在住者にバーチャル観光体験等を促しリアルな旅行につなげるなど、自身のデジタルスキルを最大限に活かしたアイデアにより、本市の産業、観光へ刺激を与えるとともに、幅広い世代の人材育成のため、学校でのICT支援や、デジタルデバインド対策を主体的に行ってください方を募集します。

(ア) スマート農業支援（農家の意見を尊重した、デジタル技術による農業のスマート化など）

(イ) 地域資源オンライン販売（地域産品、地元企業等のPRと併せた人財獲得の取組など）

(ウ) 人材育成（(ア)、(イ)などと並行してICT支援、デジタルデバインド対策など）

(2) 隊員の企画提案業務

主たる業務を遂行するなかで、地域住民や地域づくり団体等との協働による地域づくりに資する活動を隊員が自ら企画し、提案した事業について、市が適当と認めた場合、一定の範囲内において業務の一環として組み込むことができます。

また、任期終了後に市内での起業を目指す場合は、その準備作業も対象とします。

<例えば…>

- 集落に伝わる郷土芸能の盛上げに協力したい
- 地域イベントの盛上げに協力したい
- 集落のよろずやの仕組みづくりを一役買いたい
- 地域におけるデザイン力の底上げをしたい

など、自由に興味を持ったことを企画してください。

2 募集人数

募集する人数は、「1 募集する隊員の業種」に記載する人数を目安とします。

3 応募資格

次の条件を全て満たす方とします。

- (1) 年齢：20歳以上概ね50歳未満（令和5年4月1日現在）
- (2) 3大都市圏（※1）及び3大都市圏外の都市地域（※2・※3）に在住の方で、生活の拠点を伊佐市に移すとともに伊佐市に住民票を異動することができる方
- (3) 伊佐市に1年以上居住が可能な方
- (4) 心身ともに健康で地域住民の方々とコミュニケーションがとれるとともに、地域活性化に深い熱意を持ち積極的に活動できる方
- (5) 普通自動車運転免許を取得している方（生活用に自動車・バイク等の調達を推奨します）
- (6) パソコン等の一般的な操作ができる方（Word、Excel、PowerPoint等の操作やSNS活用等）
- (7) 活動終了後、起業・就業し、定住する意欲のある方
- (8) 地方公務員法第16条に規定する欠格条項に該当しない方

（※1）3大都市圏とは、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、岐阜県、愛知県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県をいう。

（※2）都市地域とは、「過疎、山村、離島、半島等の地域」（以下「条件不利地域」という）に該当しない市町村をいう。

（※3）「過疎、山村、離島、半島等の地域」とは、過疎地域自立促進特別措置法、山村振興法、離島振興法、半島振興法、奄美群島振興開発特別措置法、小笠原諸島振興開発特別措置法、沖縄振興特別措置法の各法により指定された地域を有する市町村をいう。

4 活動場所 鹿児島県 伊佐市内

5 活動時間

- (1) 1か月の勤務を要する日は、原則として17日とします。（13ヵ月目以降は15日）
- (2) 活動時間は、原則として8時30分から17時までとします。なお、12時から13時までの1時間の休憩時間を含みます。

6 活動形態・期間

- (1) 伊佐市の会計年度任用職員として伊佐市長が委嘱します。
- (2) 活動期間は、着任日から令和6年3月31日までとします。再度の任用については、任期満了時の業務量や業務の進捗状況、予算の有無、勤務成績、態度、職務遂行能力により判断することとし、活動期間は最長で3年間（36ヶ月）となります。
- (3) 地域おこし協力隊員としてふさわしくないと判断した場合は、任期中であってもその職を解くことができるものとします。

7 待遇・福利厚生

- (1) 月額200,100円を支給します。（社会保険料等自己負担分を含む、賞与あり）
- (2) 社会保険、雇用保険に加入します。
- (3) 公務災害補償の適用を受けます。

- (4) 活動期間中の住居にかかる家賃は伊佐市が負担します。(生活必需品や光熱水費等は自己負担)
※ ただし、家賃月額が5万円を超える場合の超過分は自己負担となります。
- (5) パソコン等は伊佐市が用意します。(私生活では使用できません)
- (6) 引越しにかかる費用は自己負担とします。

8 応募手続き

- (1) 応募期間 令和5年11月9日(木)から令和5年11月30日(木)まで(必着)
※ 順次、選考を行っていくことから、応募期間中であっても募集を締め切る場合がありますのでご注意ください。
- (2) 提出書類 応募用紙に必要事項を記載の上、住民票の写しと運転免許証の写しを添付して伊佐市役所 企画政策課 政策調整係まで郵送又は持参して下さい。
※ 応募用紙等はお返しいたしません。

9 選考方法

- (1) 第1次選考 (書類審査)
書類選考の上、結果を応募者全員に文書で通知します。
注) 応募用紙により書類選考を行いますので、できるだけ詳しく記載してください。
- (2) 第2次選考 (面接)
① 第1次選考合格者を対象に面接による審査を行います。日程等の詳細は、第1次選考結果の通知の際にお知らせいたします。
◇ 面接は伊佐市での開催を予定しています。
※ 面接のために要する交通費等は自己負担となります。
- ② 選考結果(最終)は、第2次選考受験者全員に文書で通知いたします。
※ 選考結果通知書(採用内定通知書)は、面接が終わり次第早急に発送いたします。

10 応募・問い合わせ先

〒895-2511 鹿児島県伊佐市大口里 1888 番地

伊佐市役所 企画政策課 政策調整係

担当 : 下一ノ宮 慎一

電話 : 0995-23-1311 FAX : 0995-22-5344

E-mail : seisaku@city.isa.lg.jp